

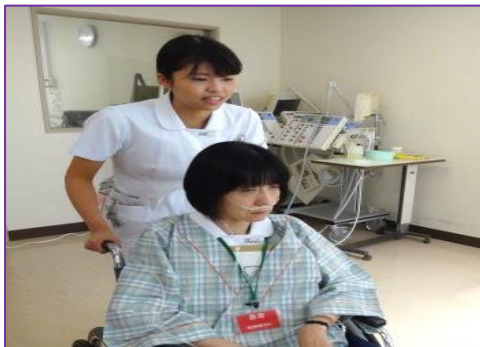
オスキー研修

～目指せ！看護実践力アップ～

10月17日（水）～19日（金）、22日（月）～23日（火）の5日間で、新卒者を対象にオスキー研修を実施しました。模擬患者を設定し、事例をもとに「移動・移乗・移送」「酸素療法」「口鼻腔吸引」を実践しました。研修者は、看護技術マニュアルや看護技術動画を活用して知識や技術を再確認したり、シミュレーションセンターで車椅子移動や吸引の演習を行うなど、主体的に事前学習し研修に臨んでいました。振り返りでは、研修者から「緊張した」「焦ってしまい、手順通りできなかった」という声が聞かれましたが、模擬患者に対し、細やかな配慮や丁寧な声かけを行い、日頃の部署での実践が反映されていました。

移動・移乗・移送

* 口鼻腔吸引 * 酸素療法



振り返り

【移動・移乗・移送】

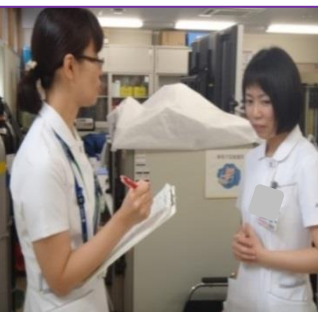
酸素投与している患者をCT検査室に迎えに行く場面から演習が始まります。患者確認、体調や排泄の確認、酸素チューブへの配慮など、安全で安楽な車椅子移動の技術を再確認しました。

【口鼻腔吸引】

車椅子移乗後、咳込む患者の状態をアセスメントし、口鼻腔吸引を実践しました。

【振り返り】

演習終了後に、研修者・指導者・模擬患者の3人で、出来ていた点や改善点、課題を話し合い、今後の看護実践に活かせる振り返りを行いました。



★次回のフレッシュナースNEWSでは、シミュレーション研修の様子をお伝えします。
新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

看護職キャリア支援 教育担当

